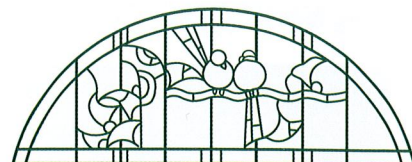


和日館木檜

しゅもくかんびより ◆ 第二十四号



文化のみち 檜木館
Cultural Path Shumokukan

発行日: 2021年9月30日

発行: 文化のみち檜木館

指定管理者: 特定非営利活動法人檜木倶楽部

数寄の美

和室2北側: 入閣天井

数寄屋造り(すきやづくり)とは、

日本の建築様式の一つ。

語源の「数寄(すき)」とは

茶の湯や和歌、生け花など

日本の文化、風流を好むこと。

「数寄屋」は

「好みに任せて作った家」のこと

であり、安土桃山時代に

母屋と別に建てられた茶室が

はじまりと言われている。

竹や杉など木の節をそのまま

活かし、自然の素材の良さを

その風合いの変化を楽しむ、

質素かつ洗練された意匠が

特徴で、数寄屋風を取り入れた

住宅の様式として現代にも

受け継がれている。

(2面「数寄の美く美しい天井」より)

数寄の美ー美しい天井ー

NPO法人 檜木倶楽部理事 伊藤喜雄

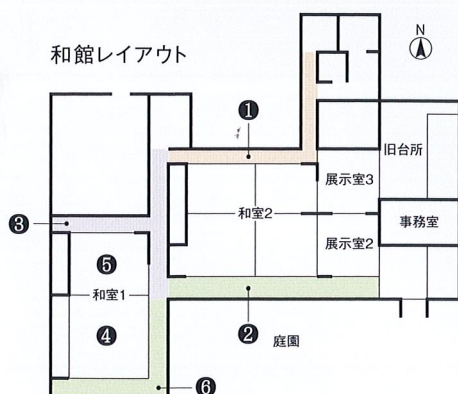
数寄屋造り(すきやづくり)とは、日本の建築様式の一つ。語源の「数寄(すき)」とは茶の湯や和歌、生け花など日本の文化、風流を好むこと。「数寄屋」は「好みに任せて作った家」のことであり、安土桃山時代に母屋と別に建てられた茶室がはじまりと言われている。竹や杉など木の節をそのまま活かし、自然の素材の良さをその風合いの変化を楽しむ、質素かつ洗練された意匠が特徴で、数寄屋風を取り入れた住宅の様式として現代に受け継がれている。

檜木館和館の入側の天井

檜木館和館の座敷は、書院座敷(和室1・客間)と床座敷(和室2・居間)だが、それぞれの入側(いりかわ)の天井は、数寄屋造りで、檜木館の和館の細部にも、建て主である井元為三郎のこだわりが見て取れる。和室2の北側の入側①の桁(けた)は、杉の磨きの一本丸太で、長さが約8メートル、60センチある。たる木の杉丸太に横棧を打ち、杉板の野地板を張った仕上がりとなっている。



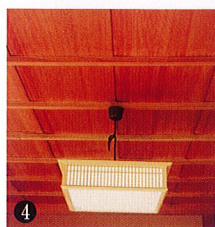
和室2:北側の入側天井



和室1:北側トイレまでの天井

南側の入側②の桁は、桧(ひのき)の角材で、たる木は杉の角材を二本ずつ並べ、その上に横棧を打って杉の野地板を張った仕上がりとし、北側とは違った趣きを見せている。屋根形状は、北・南ともに斜めの屋根裏天井である。客間(和室1)からトイレへの通路は、廊下との位置付けと思われる、平らな棹縁(さおぶち)天井③の仕上げとなっている。

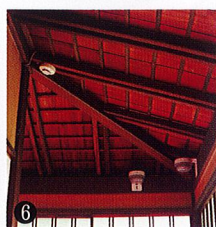
書院座敷(和室1)の主座敷(二之間)の棹縁平天井④の天井板は杉柾目板(まさめいた)、次間(二之間)の棹縁平天井⑤の天井板は杉柾目板(もくめいた)とし、二間の格に差を付けている。書院座敷の床と書院の間は、杉皮を薄くへぎ、それを縦横に編んだもので張り上げた網代(あじろ)天井で、数寄屋風を取り入れている。入側の隅部天井⑥は、隅木(すみき)からたる木を取り付けた和様(わよう)である。



和室1:主座敷(二之間)の天井



和室1:次間(二之間)の天井



和室1:入側の隅部天井



和室2:南側の入側天井

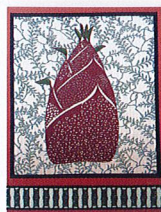
※注1:入側(いりかわ) 現在は縁側(えんがわ)と呼ばれている。かつては入側の外に濡縁(ぬれえん)が取り付けられていたが、雨戸の普及により、縁がなくなり、入側部分が縁側と呼ばれるようになったと考えられている。

※注2:桁(けた) 建物の柱の上に棟の方向に渡して支える材木。

※注3:竿縁(さおぶち)天井 主に和室の天井に用いられるもの。竿縁とは等間隔に平行に取り付けられる細長い木材で、その上に天井板を張って仕上げた天井を竿縁天井という。

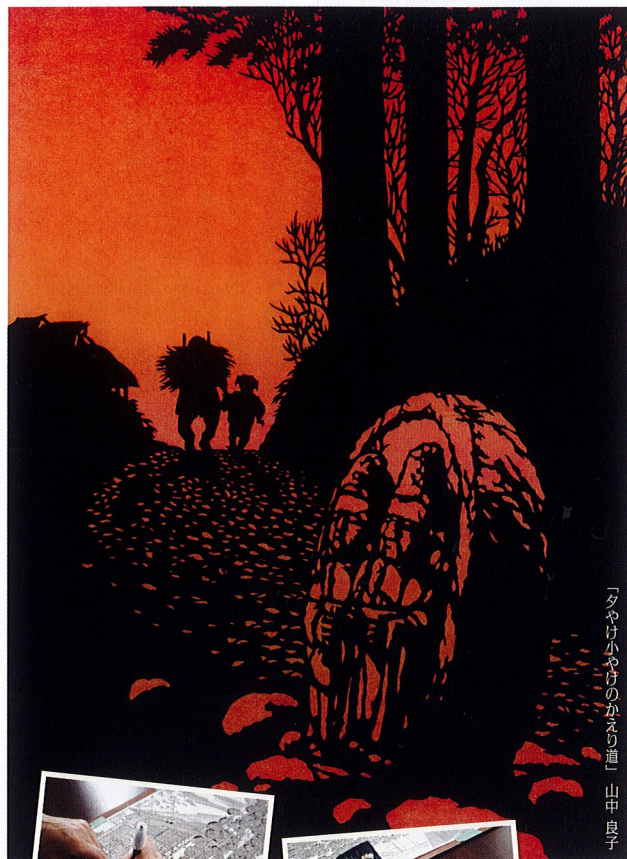
※注4:和様(わよう) 鎌倉時代に中国から伝わった新しい建築様式唐様(からよう)に対し、従来、古くから日本で寺院建築に用いられてきた建築の様式を指す。

秋の イベント 紹介



伊勢型紙×春夏秋冬Ⅱ展
10／14(木)～10／26(火)
主催・アクトティブ・エイジ・なごや伊勢型紙の会、文化のみち榎木館
※詳細は、裏面「文化のみち榎木館」催し物暦をご覧ください。

伊勢型紙は千年の歴史を持つといわれる伝統工芸で、三重県鈴鹿地方を中心に発展してきました。着物などの型染めとして使われ、細かな手仕事が生む格調高い文様が魅力です。今年のテーマは「伊勢型紙×春夏秋冬Ⅱ」として、季節の中で作者が感じたその季節ならではの味わいを伝統的な伊勢型紙により創作。また、今回特別展示として、松尾芭蕉「おくのほそ道」をテーマに、芭蕉の旅路を表現した作品も展示します。



「タヤけ小やけのかえり道」 山中良子



デザインナイフ
直線・曲線はデザインナイフ等で切り抜きます。



丸キリ
小さな丸は、その大きさにあった丸キリ(丸鋸)と呼ぶ道具を使います。



6/11～6/13
木工家ウィークNAGOYA・2021
「木工家がつくる椅子展」



4/23～5/9
なごや折り紙建築展



7/11
開館記念ハル・カルテットコンサート

文化のみち榎木館では、館主催イベントをはじめ、貸室利用によるイベントを年間通しておこなっています。当館では和室・洋室・茶室・蔵・庭をお貸しします。
詳しくは下記の電話番号、ファックス番号へお問い合わせいただくかホームページをご覧ください。

令和3年度催し物暦(4月～9月)



南側塀工事が
おこなわれました
榎木館の南側塀が
2021年3月に
コンクリート塀に
生まれ変わりました。
真新しいアイボリー色の
塗装が、文化のみちの
街並みに少しずつ
馴染んでいきます。



改修前